



校長室より



令和7年 3月24日

No.36

自分らしく生きる 豊かに生きる

一年間、ありがとうございました

ようやく桜の開花宣言が報道されるようになりました。

3月24日（月）、修了式が実施されました。卒業生がいないため、式に出ている児童生徒も寂しい数ですが、一学部入院生の中で許可が出た児童生徒たちが3名、体育館に来てくれて一緒に式ができました。リモートで家庭や病棟ともつないで参加している子どもたちもいます。

一学期の始業式において、私からのメッセージは二つありました。一つ目は、「興味あることを見つけ取り組んでほしい」ということ、二つ目は、「学校を楽しくするアイデアを募集します」ということでした。みはまの令和6年度の活動を振り返ると、数えきれないくらいの取組、新しい試みを展開してくれました。校長室だよりやマンスリータイムでは全てをピックアップできないくらいです。本当に充実した一年だったと思います。

みはまは、先輩たちが後輩たちにしっかり見本を示してくれ、後輩たちは先輩たちにあこがれて、あんなふうに自分もなりたいという気持ちにさせてくれる学校です。式の中でも、次に入ってくる後輩たちに「背中を見せる」ことができる先輩でいてほしいと伝えさせていただきました。

また、子どもたちに4月からみはまの校内のまとまりやグループの呼び方が変わることも説明させていただきました。これまで、一学部（和歌山病院入院生）と二学部（通学生）という分け方をしていましたが、4月から、小・中学部と高等部になります。そして、各学部学年の中に、1ブロック生（和歌山病院生）と2ブロック生（通学生）が在籍するという形に変わります。1ブロックと2ブロックは授業集団や学習内容は異なりますが、今後ますます交流を深められると期待しています。楽しい取組を考えていきたいですね。

さあ、4月から一つ上の学年になります。「自分らしく生きる 豊かに生きる」子どもたちを目指して、ジャンプアップして行ってほしいと思います。

